



2013年11月7日18:30~21:30、大学体育館1階ダンス室において、インドネシア国立芸術大学デンパサール校の舞踊科教授パルティニ先生のワークショップが行われました。定員20人の予定が30人となり、初心者6名（うち、本学院生2名、学部生2名）そのほか、バリ島でパルティニ先生からレッスンを受けたことがある方々などが集まりました。なごやかな雰囲気の中にもきりりとひきしまった緊張感があり、みなさん、とても熱心に集中してワークショップを受けておられました。

バリの踊りには、男性舞踊、女性舞踊、中性的な舞踊（女性による男振りの踊りなど）の3つのタイプがありますが、今回は、女性舞踊の基本である「レゴン・ラッサム」という踊りのチョンドン（宮廷の女官）の踊りのダサール（基礎）から始め、中性的な舞踊のレパトリーから、「マルガパティ」、「パンジスミラン」、「ウィラナタ」、「タルナジャヤ」という各作品のダサールを練習しました。一言に中性的な舞踊と言っても、作品によって、アグム（基本姿勢）やスルーデット（目の動き）やグンバン（歩き方）などの踊りの型の動きが微妙に異なるのですが、その微妙な違いを丁寧にご指導いただきました。初心者の方にはかなりハードな内容となりましたが、がんばって付いてきておられたのが印象的でした。最後には、受講者のリクエストに応じて、パルティニ先生が「ウィラナタ」の踊りを披露してくださいました！